

【公報種別】実用新案法第 14 条の 2 の規定による訂正明細書等の掲載

【部門区分】第 1 部門第 4 区分

【発行日】平成27年9月3日 (2015.9.3)

【登録番号】実用新案登録第3156818号 (U3156818)

【訂正の登録日】平成27年7月24日 (2015.7.24)

【登録公報発行日】平成22年1月21日 (2010.1.21)

【出願番号】実願2009-7804 (U2009-7804)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/494 (2006.01)

【 F I 】

A 4 1 B 13/02 K

【訂正書】

【提出日】平成27年7月16日 (2015.7.16)

【訂正の目的】実用新案登録請求の範囲の減縮等

【訂正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

尻を覆う尻当て部と、前記尻当て部から延在し股下を覆う股下部と、前記股下部から延在し着用時に前記尻当て部と対向し腹部を覆う腹当て部とが一体に形成された着用部材と、前記着用部材に設けられ排泄物を吸収する吸収部材と、前記着用部材の周囲の少なくとも一部に配設され、当該おむつの使用者の体の一部分と当接し前記着用部材と前記体の一部分との間に隙間を生じ難くするギャザー部材と、前記ギャザー部材の近傍に前記ギャザー部材に沿って配設され、前記着用部材に段差を形成する形状を有し着用時に前記体の一部分と当接して前記着用部材と前記体の一部分との間に隙間を狭くする漏れ防止部材とを有し、
前記漏れ防止部材は、少なくとも一面に前記ギャザー部材に沿った方向に延びる少なくとも一本の溝が形成された形状からなり、前記溝が前記便を押し止めるように配設されること

を特徴とする使い捨ておむつ。

【請求項 2】

尻を覆う尻当て部と、前記尻当て部から延在し股下を覆う股下部と、前記股下部から延在し着用時に前記尻当て部と対向し腹部を覆う腹当て部とが一体に形成された着用部材と、前記着用部材に設けられ排泄物を吸収する吸収部材と、前記着用部材の周囲の少なくとも一部に配設され、当該おむつの使用者の体の一部分と当接し前記着用部材と前記体の一部分との間に隙間を生じ難くするギャザー部材と、前記ギャザー部材の近傍に前記ギャザー部材に沿って配設され、前記着用部材に段差を形成する形状を有し着用時に前記体の一部分と当接して前記着用部材と前記体の一部分との間に隙間を狭くする漏れ防止部材とを有し、
前記漏れ防止部材は、両端にそれぞれ配設された紐と一体成型され、前記紐の一方の先端に前記紐の長さを調節する留め具を配設されること

を特徴とする使い捨ておむつ。

【請求項 3】

尻を覆う尻当て部と、前記尻当て部から延在し股下を覆う股下部と、前記股下部から延在し着用時に前記尻当て部と対向し腹部を覆う腹当て部とが一体に形成された着用部材と、前記着用部材に設けられ排泄物を吸収する吸収部材と、前記着用部材の周囲の少なくとも一部に配設され、当該おむつの使用者の体の一部分と当接し前記着用部材と前記体の一部分との間に隙間を生じ難くするギャザー部材と、

前記ギャザー部材の近傍に前記ギャザー部材に沿って配設され、前記着用部材に段差を形成する形状を有し着用時に前記体の一部分と当接して前記着用部材と前記体の一部分との間に隙間を狭くする漏れ防止部材とを有し、

前記漏れ防止部材は、両端にそれぞれ配設された紐と一体成形され、前記紐の先端に前記紐の長さを調節する面ファスナーをそれぞれ配設されることを特徴とする使い捨ておむつ。